

平成22年11月9日

座間市長 遠藤 三紀夫 殿

座間市基地返還促進委  
会長 木村 功



### 答 申 書

平成22年3月18日付けをもって諮問のありましたキャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区の返還跡地の利用計画を別紙のとおり答申します。

まえがき

キャンプ座間の返還に関しては、平成18年5月に日米安全保障協議委員会でチャペル・ヒル住宅地区の一部約1.1ヘクタールの返還が決定され、また、平成21年10月には、国と市との協議機関である「キャンプ座間に関する協議会」において、国から追加的返還候補地として陸上自衛隊家族宿舎用地を含む約4.3ヘクタールが新たに提示されています。

このような中で、我々市民各層代表15名は、平成22年3月、座間市基地返還促進委員会委員に委嘱され、市長から「キャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区の返還跡地の有効活用を図るため、その利用計画について」諮問を受けて以来、現地調査を含め5回に及ぶ会議を開き、慎重審議を重ねてまいりました。

跡地利用計画の策定にあたりましては「キャンプ座間に関する協議会」の協議内容や市政に対する市民要望等を踏まえるとともに、市の財政負担を極力抑制するため、国有財産の処分に係る優遇措置等も考慮した中で、最大限有効に活用できるよう多角的に検討し、次のとおり意見の集約を見たものです。

この計画実現には、解決を必要とする多くの課題が内在していると思われませんが、市民の大きな期待に応え、関係機関との連携のもとに全力で取り組まれるよう切望し、ここに答申いたします。

## キャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区返還跡地利用計画

### 1 計画策定の基本的方針

今回の返還は、基地が所在する市の負担軽減策として国から示されたものであり、市民にとってもそれを実感できる活用が求められる。そのため、次の基本的な方針に基づき、計画を策定した。

- 1) 返還跡地として利用計画を策定する範囲は、返還予定地約1.1ヘクタール、追加的返還候補地約4.3ヘクタール、既存敷地約0.2ヘクタールの合計約5.6ヘクタールとする。
- 2) 跡地利用計画は、市の財政負担を極力抑制する中で、用地を最大限有効に活用できるよう総合的に検討する。
- 3) 追加的返還候補地の一部用地を国が利用することを前提として計画する。
- 4) 国と市との協議機関である「キャンプ座間に関する協議会」の協議内容や市政に対する市民要望等を踏まえた計画とする。
- 5) 返還跡地の現況や周辺公共施設との関連等を勘案して計画する。

### 2 跡地利用計画

返還跡地を市が利用するにあたっては、そのコンセプトを“スポーツと健康の森”とし、既存の市民体育館・大坂台公園との一体性を持った活用を意図した。具体的には、整備が望まれる施設として、病院及び公園を位置づけるとともに、返還跡地を大きく3つのゾーンに区分し、それぞれの利用を次のとおり計画した。

#### 1) 病院誘致ゾーン

病院誘致ゾーンは、市民の要望が最も高い総合病院を誘致することとし、市の救急医療体制を充実させるよう計画した。面積は、約1.5ヘクタールとし、既存敷地を効果的に活用するため、現在の市民体育館第2駐車場もこの区域に含めることとした。

#### 2) 公園ゾーン

公園ゾーンは、現状の地形を活かして緑地、交流広場、多目的広場及び公園利用者等の駐車場を整備するほか、展示施設や学習室、管理事務所等を含む複合施設を設置する区域として計画した。面積は、約1.5ヘクタールとし、隣接する市民体育館、大坂台公園との連携を図るとともに、多目的広場は市民体育館の臨時駐車場としても活用することとした。

3) 陸上自衛隊家族宿舎建設ゾーン

陸上自衛隊家族宿舎建設ゾーンは、250戸の陸上自衛隊家族宿舎を国が建設する区域として計画した。面積は、約2.0ヘクタールとした。

4) その他

返還跡地内の道路については、国が整備する陸上自衛隊家族宿舎へのアプローチ道路を有効活用する形で計画した。また、県道町田厚木線沿いに歩道を整備し、バリアフリー化を図ることとした。

3 跡地利用計画図（別添）

4 計画推進のために

本計画の推進のため、次の意見を付す。

- 1) この計画は、返還跡地の利用について一定の方向を示したものであり、今後、市として詳細な検討を加えたうえで、具体的整備を推進されたい。特に、公園ゾーンの施設については、国の補助制度等を活用する中で内容を十分に精査されたい。
- 2) 病院誘致にあたっては、現状の医療圏における病床過剰地域の課題解決とともに、市の財政負担を極力少なくする方策を模索するなど、その実現に向けて全力で取り組まれたい。
- 3) 今後とも、返還跡地に係る国との協議を積極的に行い、市の跡地利用に対する最大限の配慮を求められたい。




# キャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区 返還跡地利用計画

相 模 原 市

 計画範囲

返還予定地	約1.1ha
追加的返還候補地	約4.3ha
既存敷地（駐車場用地）	約0.2ha
合計	約5.6ha

## 利用計画

-  病院誘致ゾーン 約1.5ha
  -  公園ゾーン 約1.5ha
  -  陸上自衛隊  
家族宿舍建設ゾーン 約2.0ha
  -  道路
  -  歩道拡幅
- } 約0.6ha

